

アンケート集計結果

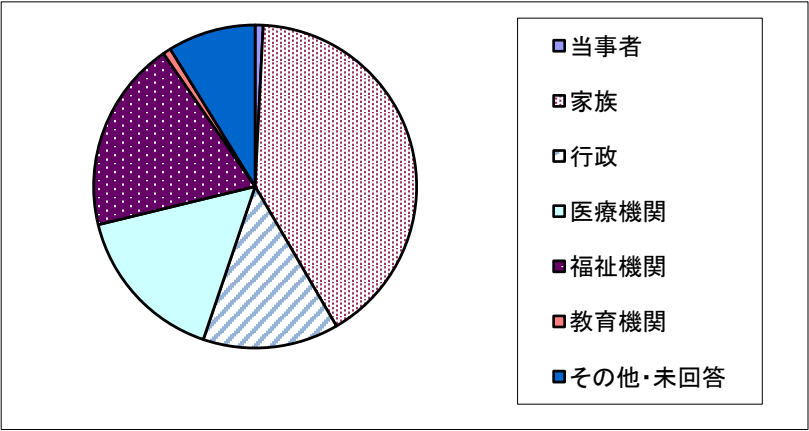
研修名 第3回ひきこもり支援フォーラム 第8回ふらっとフォーラム

参加者	216人
回答者	125人

回答率 58%

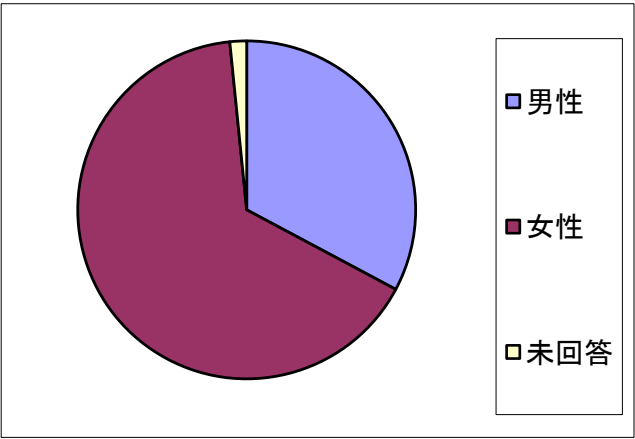
1 参加者区分

当事者	1
家族	51
行政	17
医療機関	20
福祉機関	24
教育機関	1
その他・未回答	11



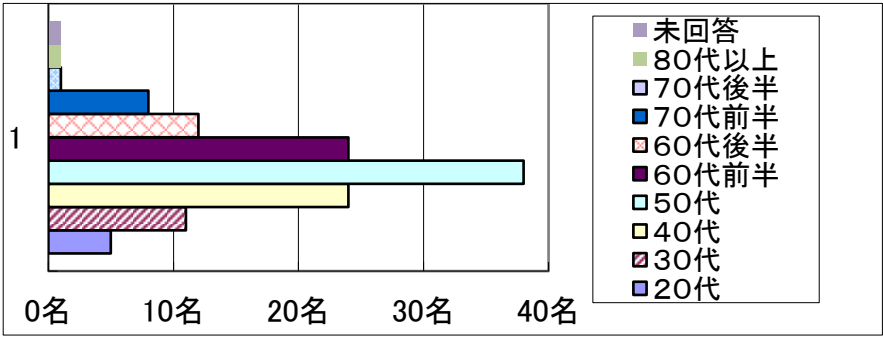
2 性別

男性	女性	未回答
41名	82名	2名



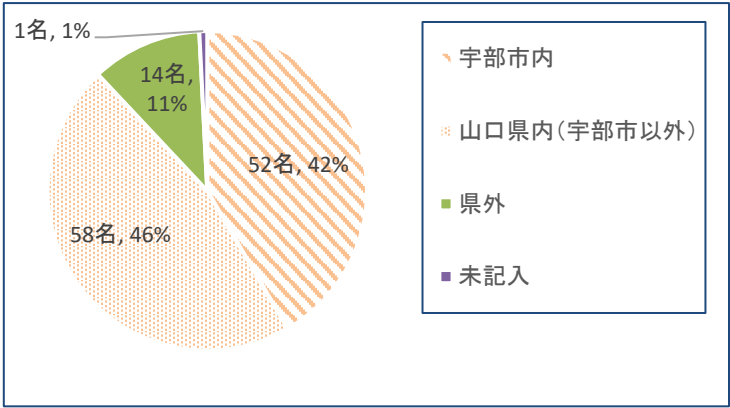
3 年齢層

20代	5名
30代	11名
40代	24名
50代	38名
60代前半	24名
60代後半	12名
70代前半	8名
70代後半	1名
80代以上	1名
未回答	1名



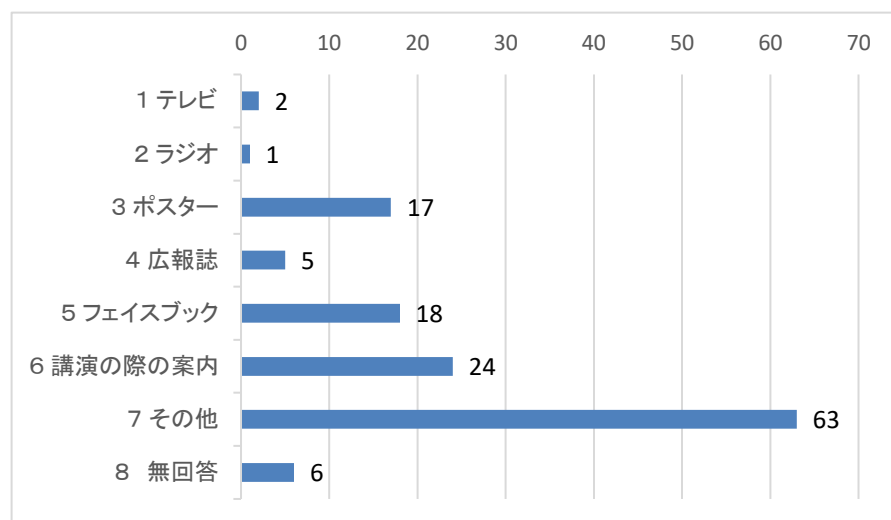
4 お住まいの地域

宇部市内	52名
山口県内（宇部市以外）	58名
県外	14名
未記入	1名



5 情報収集先（複数回答）

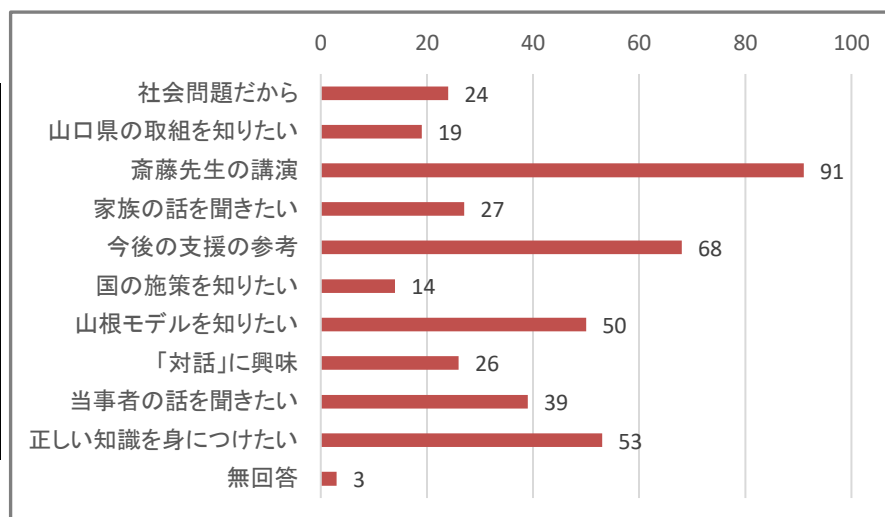
1 テレビ	2
2 ラジオ	1
3 ポスター	17
4 広報誌	5
5 フェイスブック	18
6 講演の際の案内	24
7 その他	63
8 無回答	6



※「7 その他」には、ふらっと・家族会で紹介された、チラシを参考にした等が多数含まれる。

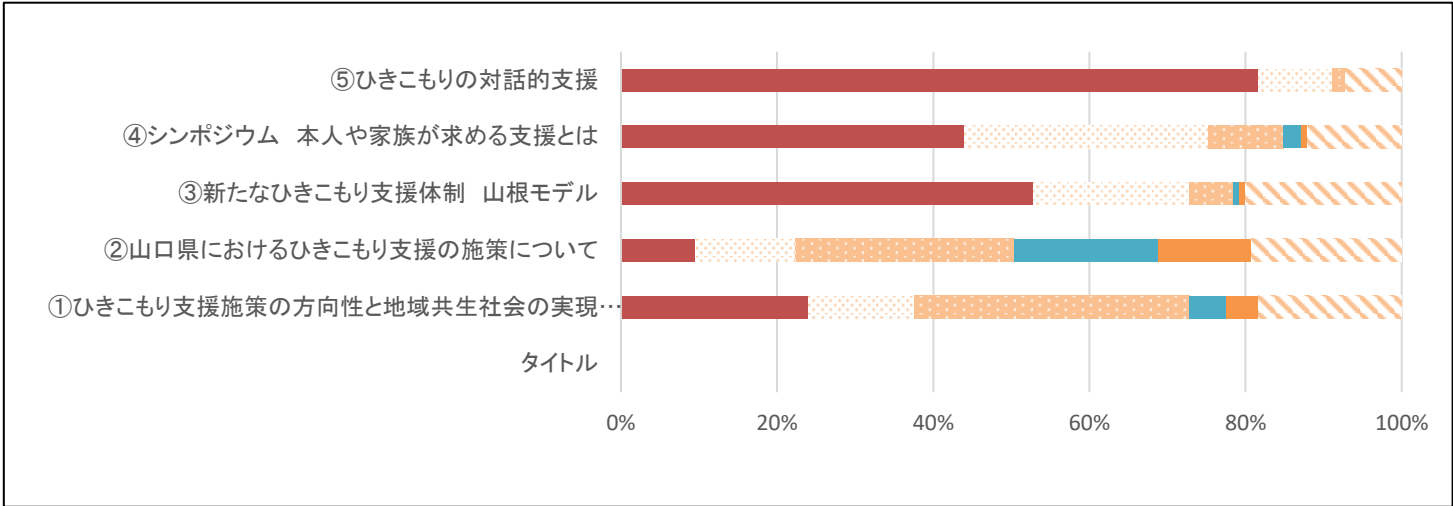
6 参加動機（複数回答）

1 社会問題だから	24
2 山口県の実情を知りたい	19
3 斎藤先生の講演	91
4 家族の話を聞きたい	27
5 今後の支援の参考	68
6 国の施策を知りたい	14
7 山根モデルを知りたい	50
8 「対話」に興味	26
9 当事者の話を聞きたい	39
10 正しい知識を身につけたい	53
11 無回答	3



7 各講演等の満足度

6 各講演等の満足度	平均値	満足度 5	満足度 4	満足度 3	満足度 2	満足度 1	未回答等
①ひきこもり支援施策の方向性と地域共生社会の実現に向けて	3. 60	30	17	44	6	5	23
②山口県におけるひきこもり支援の施策について	2. 87	12	16	35	23	15	24
③新たなひきこもり支援体制 山根モデル	4. 54	66	25	7	1	1	25
④シンポジウム 本人や家族が求める支援とは	4. 31	55	39	12	3	1	15
⑤ひきこもりの対話的支援	4. 86	102	12	2	0	0	9



各講義・講演等の感想・意見・要望

①ひきこもり支援施策の方向性と地域共生社会の実現に向けて

(家族)

- ・ 本人、その家族を救うため少しでも早く対策を実現させていただけるよう、願います。
- ・ 具体性があまり見えない。
- ・ 国は本気モードかどうか
- ・ 大変参考になった。
- ・ 国の政策は理解できました。現実とのギャップが…と不満が出ます。
- ・ 形だけだから。
- ・ 国としての取組を直に聞くことができてよかった。今後の国の支援に期待したい。
- ・ 国の施策について説明があり、良かったが、難しかった。
- ・ 良かったです。
- ・ 国の立場で、いろいろなことを一生懸命に取り組んでおられることがよくわかった。
- ・ 施策だけでは解決しない。
- ・ 支援をしやすくして欲しいです。
- ・ 現在どのようなことが政策として確立しているのかが、理解できた。
- ・ 枠組みだけの政策ではなく、効果や結果の出る取組、スタッフの人員確保と人材育成をして欲しい。本当の支援体制を構築し、持続可能な取組になるような政策を強く望みます。
- ・ 典型的な官僚型のスライドであった。（文字が多すぎる。詰め込みすぎ）

(行政)

- ・ 国の施策、方向性がわかりました。
- ・ 方向性はよくわかった。

(医療機関)

- ・ 私は精神科看護師ですが、ひきこもりの患者さんも多く看ます。改めて対話が（）重要であることを再認識しました。
- ・ 問題も多いと思う。社会でテレビで問題になって動く。遅い。

(福祉機関)

- ・ わかりやすく、まとめられた情報提示され、参考になりました。
- ・ 施策やデータ等の資料がたくさんあり、よかった。（あとでしっかり拝見したいです。）
- ・ 詳細な国の支援内容がわかってよかった。今後各市町村に対しての補助予算がでていくことを、今日のプリントをみて確認していきたいです。
- ・ 地域共生の取組や地域共生の重要性、関係者としての知識、技術について理解ができました。今後の研修に活かしたいと思います。

- ・ 国が今後をどう考えているのかがわかってきた。これからも継続支援をしたいと思われている姿勢は伝わった。
- ・ 資料が小さすぎて読みづらい。パワーポイントも見づらい。資料代も徴収しているのだから、きちんと読める資料をだして欲しい。内容が多すぎて、実際に関わっている専門機関でないと、理解できないのではないかな？
- ・ 国のデータ等がわかりました。内容については少し難しかった。
- ・ 資料ばかりで見るのも大変。説明するのも大変だと思いますが、もう少しわかりやすくしていただけると助かります。

（その他）

- ・ 具体的でとてもわかりやすかったです。今後、高齢者、若年者を一体的に支援できる体制作りに期待すると共に、関係機関同士の連携のあり方を、連携をサポートする側として考えていきたいと思っています。
- ・ 資料が多すぎて…。持ち帰ってゆっくり読ませていただきます。

（所属不明）

- ・ タイトルから腹が立ちました。地域に出たいと思うような社会ではないと思います。ひきこもって何が悪い。

② 山口県におけるひきこもり支援の施策について

（当事者）

- ・ 連携の話が漠然としてわかりづらかった。

（家族）

- ・ 宇部や下関に比べ、まだまだのところも多いので、県全体として早く進んで欲しい。
- ・ 具体性があまり見えない。
- ・ 姿勢が伝わってこない。
- ・ 大変よかった。
- ・ 前回フォーラムと同じような内容でした。
- ・ 形だけだから。
- ・ 一歩踏み込んだ支援をしてほしい。支援を必要としている人への情報発信をもっとしてほしい。2019年10月の講演会もとても良かったです。今年も参加したいと思っています。
- ・ 具体的説明をされ、わかりやすかった。
- ・ よくわからないです。
- ・ チラシの段階を説明するだけで、実現性が感じられません。
- ・ 県が提唱しているステップ4の段階の支援で、実際に県が実施しているのは、ステップ1の家族への研修会で止まっていると感じている。説明データが古く、結果も誇張されているのでは？
- ・ 施策だけでは解決しない。
- ・ 長期的に、だれでも相談できる場所であって欲しいと思います。
- ・ 現実として、どことつながったらよいか、理解はできたが、数年前に様々なところで門前払いだった。あまり変わっていない気がする。
- ・ 枠組みだけの政策ではなく、効果や結果の出る取組、スタッフの人員確保と人材育成をして欲しい。本当の支援体制を構築し、持続可能な取組になるような政策を強く望みます。

- ・ 典型的な官僚型のスライドであった。（文字が多すぎる。詰め込みすぎ）

（行政）

- ・ 県の役割がわかりづらく感じました。
- ・ 優先順位の中でひきこもりの支援はどのくらいなのか。不十分かな。現場の声をききたい。

（医療機関）

- ・ 共に学んでスキルを得たいとも思いました。
- ・ 病気の親に生活を共にしている子どもたちの不登校の事例の多い。子どもたちも発達障害もあり、連鎖的な場合も多い。病院につながるケースもあるが、氷山の一角である。80－50氷河期の50歳に対して、能力がある人へは就労。低所得ではあるが、頑張っている人も多い。

（福祉機関）

- ・ 過去にしたことや、基本的な考え方を述べられている感じでした。県民の立場として、今後のビジョン、山口県として非常に希薄な内容と私は感じ、とても残念でした。山根先生のように、実践があり、エビデンスに基づいた活動をされている団体に、県の立場として協力を求めて欲しいです。

- ・ 県も熱心に取り組まれていることは理解しています。長崎にも支援について指導されたとのこと。山口が国の最先端にいけるといいなあと思います。山根先生のような取組をされている方々とうまく連携していくというのは難しいのでしょうか？「ひきこもり支援なら、山口に聞け」と言われるようになったら良いと思います。
- ・ 20年前の内容と感じた。「非常勤1名を雇用しました。全県に良い方向に…」この言葉がすべてですね。本気で取り組むには、常勤者＋2～3名の体制でなくては無理だと思います。
- ・ 「受け皿」としては素晴らしいと思います。家族相談でつまづいて悩み苦しんだ家族を見守ってきました。（友人として）両親が揃っているからといわれても、夫婦の考え方が違えば、家族相談さえ受け入れてもらえないのはどうなのでしょう？「断らない」といっても、断っているのと同じです。
- ・ 山口県の取組がわかった。
- ・ 通り一遍の説明でわかりづらい。パンフレット以外の資料も欲しい。
- ・ 県の施策はわかりましたが、具体的な支援内容がわかりづらかった。
- ・ 実用化とより具体化し、末端への舵取りを早急をお願いしたい。形だけでなく、ソフトもしっかりと。

（その他）

- ・ 県の取組の経緯がよくわかりました。効果についてのご報告もいただけたら良かったと感じました。
- ・ 説明してくださった方は、それなりにまじめに取り組んでこられたのだと思いますが、山根先生の怒りのパワーに、「やはりお役所仕事なんだなあ」と思わざるを得ませんでした。
- ・ 役所なりに行っていると思う。足りないところを連携して補うということではないか。基本的には山根方式が広がることが期待される。
- ・ 昨年参加させていただいて、講演と同じ内容（プリント）だと感じました。

③新たなひきこもり支援体制 山根モデル

（家族）

- ・ 全く参考にならない。
- ・ 勉強になりました。支援体制を理解していこうと思います。わかりやすかったです。
- ・ テレビ放送をみて、ふらっとにたどり着き、今があります。これからも、学び続けたいと思います。よろしくお願いします。
- ・ 先生本人の講演を聴いてみたいです。
- ・ 頭が下がる思いです。
- ・ いつもありがとうございます。わかりやすかったです。
- ・ 取組が素晴らしい。
- ・ 参考になりました。
- ・ 説得力のある講演内容で、心強い支援をしてくださっている山根先生に今後もしっかり学んでいきたいと思いました。
- ・ すばらしいと思った。通り一遍な対応ではなく、解決に向けた可能性を感じました。相談したいと思った。
- ・ 家族にも本人にもとても適切な方法で支援されていると思います。
- ・ 本人、家族のために細やかな配慮、活動いつもありがとうございます。経過、観察、報告よろしくお願いします。
- ・ 先生の提唱されるモデルを広げて、ひきこもり問題が少しでも改善することを期待します。
- ・ 本人が前に進めることに頑張りたいです。
- ・ いつもの的確なアドバイス、ありがとうございます。
- ・ 肯ける所がたくさんありました。同時に肯いてもらえることの大切さもわかりました。これは、ひきこもりの子どもにも同じだと思いました。どう活用したらよいか、どうするのが良いか、もう一度考えたい。行動したい。
- ・ お話を伺って、胸が熱くなりました。先生のお考えに感動しました。ありがとうございます。
- ・ 山根モデルの全体像がよくわかった。

(行政)

- ・ ひきこもりの背景等がわかり、支援の必要性、大切さが理解できました。
- ・ 山根モデルを他の市町で拡げていくために、何が必要か、考えさせられました。

(医療機関)

- ・ 聞いて終わらないに同じ意見です。コ・メディカルの連携が必要。行政と現場の温度差はあります。トレース形式で個人を中心に援助をあてることです。

(福祉機関)

- ・ 実践内容がとてもわかりやすく、当事者、家族の声も表現され、心強く感じました。
- ・ 現状がよくわかりました。マスコミがおもしろおかしく報道するのは悲しいです。「安心安全の場づくり」「学びがある」(楽になることだけじゃない)「しかけて待つ」発達障害の支援もここをやります。本人がSOSを自ら出せるようにしかけます。出せたら承認します。「親を支援しながら、その向こうの当事者を支援」
- ・ 山根先生の情熱を感じました。
- ・ 初めて先生の講演を聞くことができ、本当に良かったです。実践していきたいと思います。
- ・ ふらっとコミュニティの活動など知れてよかった。
- ・ 山根先生が活動の場を広げられていることを知らず、もっと早く知っていれば息子も苦しみから早く解放できたのではないかと思います。動いてはいますが、未だに会話は必要な時だけです。少しずつ会話ができるようがんばります。今、息子の救いは勤務先の社長だと思います。社長が送迎していただいています。家族にはみせない笑顔がありました。家庭の中でもその笑顔がみれるよう、声かけをしていきたいと思っています。
- ・ 何回拝聴してもうなづくことばかりです。自分たちの地域でやってみたいと思います。
- ・ 山根先生の熱い想いが伝わってきた。
- ・ 山根モデル、よくわかりました。
- ・ 山根先生がしてこられた支援について頭が下がります。ひきこもり支援のの現場の声がダイレクトで行政に対する憤りにも感じた。すぐに動けない行政に期待できないのは、福祉の場において一緒かなと共感。ひきこもりの支援の現状と取組に学べ、良かったです。機会があれば、また参加させてください。

(その他、所属未記入)

- ・ とても具体的で臨床に役立つと思いました。
- ・ 本人、家族のつらさ、向き合い方が、具体的な関わり方…。いろいろ考えさせていただきました。一番つらいのは本人。忘れないようにします。
- ・ 自分の立場でできることを考えていきたいと、切に思いました。
- ・ 具体的な現状がわかって有意義でした。
- ・ ポスト山根先生体制をどう築くか、大きな課題だろう。人材の育成、処遇(給与等)容易ではなかろう。クラウドファンディング、本格的、定例的な実行による安定的な基盤を築くことが考えられる。この場合も中核的な人材が必要だろう。
- ・ 医療につなぐ人は得意そうですが、そうじゃない人についてはエビデンスがないように見えます。

④ シンポジウムー本人や家族が求める支援とは

(家族)

- ・ 貴重な家族、当事者の方のお話が聞けて感銘しました。生の声が聞けて良かったと思います。
- ・ 今感じている親の気持ちをすべて言っていただき、ありがたかったです。また、一緒に頑張れる元気がもらえました。
- ・ 当事者の素直な感想が聞けて参考になった。
- ・ 貴重な当事者の方の言葉が聞けて良かったです。何を求めていたのか、もっと聞きたいです。
- ・ ご家族、当事者からの意見はとても心に響きました。斎藤さん、あさのさんお話は、親として子どもがこんなに苦しんでいるのかと、涙がでてきました。
- ・ 本人の声が聞けてよかった。
- ・ 本人さんのお話がきけて良かった。
- ・ ご家族、当事者の方の話はとてもわかりやすく、ありがたいと思いました。ご苦労様でした。厚労省の方の返答、うまく躲されていたなど…。もう少し具体的なことが聞ければと思いました。
- ・ 共通認識が持てた。
- ・ ひきこもりから一般就労までの過程を詳しくいただき、とても参考になりました。当事者の気持ちを聞くことができ、より一層前向きに頑張ろうと励まされました。

- ・ 本人の生の声がきけて良かった。
- ・ 家族や当事者の生の声が聞けて大変参考になった。
- ・ 時間が短かったので、複数意見が聞けなかった。
- ・ それぞれの体験を聞くことは参考になりました。
- ・ 近くで行きやすい所がたくさんあるといいです。
- ・ 家族や当事者の方の勇気に感謝。
- ・ 当事者の意見が参考になりました。
- ・ 貴重な体験を聞くことができて感謝しております。同じ家にいる状況でも、「行く場所があつて、家にいる」と「行く場所がなくて家にいる」のとでは全く違うこと。印象に残りました。
- ・ 本人、家族の立場で登壇してくださったことに感謝しています。苦しい中で、振り返っての声を出してくださった勇気に、聞いている方も勇気をいただきました。厚労省の方が人々の声をしっかり受けとめ、国を挙げて取り組んでくださることを期待します。
- ・ 待つことが大事。双極性障害や家族関係(味方が居ない→外出できない)。会いたい人がいない、行く場所がない→ふらっとコミュニティの存在価値が改めて理解できた。

(医療機関)

家族、当事者の思いを聞くことができて、よかったです。今後の支援に役立てたいと思います。
もう少し対話をしてもらいたかった。
家族の思い、本人の思いの相違は、時間及び第三者の介入(学び)が大切だと思います。
当事者の生の声をきけてよかった。「安心できる居場所づくり」本当に大切なことだと思う。

(福祉機関)

- ・ 勇気を持って発言された方々に感謝です。熱い想いは伝わってきました。お疲れ様でした。ありがとうございます。
- ・ ご家族の方、当事者の方々のお話がとても参考になりました。
- ・ 本人、家族の生の声を聞くことができ、大変勉強になりました。
- ・ 当事者の話が聞けて今後の参考になった。
- ・ 夜の外出は、対人恐怖症が原因でひきこもりになる子が多くとる行動ですね。温かく見守る気持ちも大切ですね。ご本人やご家族の方の気持ちを聴くことにより、これから何をすべきかを考えるようになりました。主人は苦しんだ家族の一人であります。息子共々主人のサポートができるよう、私自身も学んでいこうと思いました。『当事者が一番辛い』が心に響きました。
- ・ なかなか聞くことができない内容を聞けて良かった。
- ・ 当事者、家族の声を実際に聞いて、本当にそうだね、と思うこと。親の優しい言葉が重かったという声、心にあること、とどめて気をつけていきたい。親は先を心配しすぎて先回りをしない。本当に大切なことだと思って、聞きました。
- ・ 当事者、家族のお話を直接聞けてよかった。
- ・ ご家族、当事者の方の話を聴くことができてよかった。思いが伝わってくるお話でした。
- ・ 当事者や家族の意見を聞け、よかった。
- ・ 本人や家族の生の声(本音)が聞け良かった。ふらっとにつながつての報告で変化があったことを聞き、居場所や相談場所の必要性が改めて理解できた。ひきこもりの体験をいろいろな方が知る機会、発信できると良いですね。これからも、自分の思いを大切にしてください。先生は、モデルを広めてください。

(その他、所属未記入)

- ・ ご家族、ご本人の苦しい思いをきかせていただきました。支援者の教育、相談できる場所、居場所の拡大。課題は多いと思いますが、少しずつで、前進することを願います。また、一般市民の理解を進めていくことも同時に取り組んでいくことも必要ですね。縦割りでなく、様々な団体、職種等で一緒に進めていきたいです。
- ・ 生の声を聞くのはやはり一番勉強になります。
- ・ 当事者の方の生の声は、貴重で苦しみがよくわかった。
- ・ 医療が優先されるひきこもり状態ではなく、病気ではないにも関わらずひきこもっている人の話が聞きたい。

⑤ ひきこもりの対話的支援

(家族)

- ・ 対話の大切さ、内容がよくわかりました。
- ・ とても良いお話を聞き、勇気も又頑張れる力をいただきました。ありがとうございます。
- ・ とてもわかりやすくご説明をくださり、ありがとうございました。時折、メモを読み返しながら、一つ一つ実施して本人の明るくなった姿がみれるよう努力していきたいと痛感しました。
- ・ 今までの考え方とは、逆だったので多少戸惑いを受けた。
- ・ 自分の求めていた話(当事者とのコミュニケーション法)が聞けて、大変勉強になりました。対話、信頼のみの有効性を知ることができました。
- ・ とても貴重な内容で、もう一度家に帰ってよく思い出そうと思いました。ただ、少し早口で表現が難しかったかなと思いました。
- ・ こんな考えでいいんだと、前向きにとらえることができました。
- ・ 先生の生の講演が聞けて、対話とは何かが明確に説明され、よく理解できました。
- ・ わかりやすく話をしていただいて、出席して良かったです。
- ・ 山根先生の考えの基礎になられていることが充分理解できました。涙がでそうな話でした。本当にありがとうございました。
- ・ 非常に役に立った。
- ・ 貴重な話を伺う機会を提供いただき、感謝します。
- ・ 対話の重要性を具体的に聞くことができ、じっくり子どもと向き合っていこうと思いました。
- ・ 先生のすばらしい講演をきき、とてもよかったです。対話に心がけてまいります。
- ・ 先生の話が聞けて本当によかったと思います。
- ・ 本当に良い講演を聞かせていただきました。適切で感慨深くすばらしかったです。自分自身をまだまだ追い込んで考えてみます。
- ・ 大変貴重なお話をありがとうございました。
- ・ 対応策をもう少し詳しく聞きたかった。
- ・ ポイントがわかりやすく、とてもよかった。一度話を聞いてみたい先生だったので、期待を裏切りませんでした。
- ・ 対話の大切さ、夫婦間の食い違いを少しでも埋めるための話がためになりました。
- ・ わかりやすくご指導くださり、対話を努力します。
- ・ ひきこもりの家族がいるので、どのように対応すれば良いか。本人と両親に対して、どう関れば良いか、特に両親へどうアドバイスするか、明確になってきた気がします。
- ・ 全てためになりました。わかっていることもあるし、新しく知ったこともありました。つつい忘れてしまいがちなこともあり、今一度振り返りながら、家族と接して行こうと改めて思いました。私亡き後も、子どもが「自立できるように」をゴールに、頑張ろうと思いました。最近はやめてしまっていた、くだらないおしゃべりを復活させます。
- ・ 大変よく理解できました。対話を実践します。
- ・ 非常に良かった。対話することの大切さ等、話がわかりやすかった。

(行政)

- ・ とても説得力があり、納得できるお話ばかりでした。今後参考にしたいです。
- ・ 「対話」の重要性と、専門職ではなくてもすすめていけることがわかった。
- ・ 大変明確で、わかりやすく今後参考になる話でした。「ひきこもり」のイメージが変わり、自分にどんな支援ができるのか、具体的に考える機会となりました。

- ・ 具体的な支援方法を聞くことができ(特に家庭内暴力)、大変有意義な講義でした。ありがとうございました。

(医療機関)

- ・ オープンダイアログになるとは意外でした。
- ・ 対話とオープンダイアログについても学んでいきたいと思います。
- ・ 先生の断定した言い方がとてもよかった。「しないでください」「だめです」等。
- ・ とても良いお話でした。
- ・ ひきこもりのライフプラン100万円の確保は、親世代が残すことは難しい。親世帯もぎりぎりなんです。財産処分してなお生活できない部分は保護になるのではないのでしょうか？民生委員の介入等行政が申告しなくても訪問するシステムが必要。
- ・ とてもわかりやすくお話しいただいた。支援者としての距離感が大切だと思う。対話的支援について学びを得ることができた。
- ・ ひきこもり、不登校に関わる支援者としての基本的スタンスを改めて確認できた。本人、家族、関係機関にどう関わるのが大切か、わかりやすく学ぶことができました。ありがとうございました。

(福祉関係)

- ・ ひきこもり救出マニュアルの愛読者です。具体的でわかりやすかった。
- ・ ものすごくわかりやすく、今後自分の活動に活かせると思いました。
- ・ 斎藤先生のお話は「ひきこもり」の方との関わり方でしたが、これは、普通の子育てや職場内の人間関係、人材育成につながるお話でした。自分の普段のコミュニケーションについて、振り返ることができました。「頭もしっぽもないおしゃべり」
- ・ 対話的支援、とてもすばらしい視点をいただきました。ゆっくりと内容を読み直したいです。
- ・ 今後の支援の参考にしたい。とても良かった。心に残った。
- ・ 対話の重要性、関係機関のスキルアップの必要性を感じました。
- ・ 御多忙の中、貴重な講演をきけてとても勉強になりました。
- ・ 勉強になりました。
- ・ 学校は精査してくれません。「家庭に問題がある」とスクールカウンセラーが主人に話したそうです。「いじめ」で不登校になったのに。「学校に行く」と子どもに話すと、泣いて拒否したそうです。「肌が白い」「太っている」「体力がない」と散々友達にからかわれ、心が繊細なばかりに人一倍傷ついて対人恐怖症になったと主人から聞いています。前妻は「心が弱すぎる」と子どもをなじったようです。輪に輪をかけてしまったケースです。離婚後、主人は息子と向き合うことを覚悟し、少しずつ会話を取り戻しています。「息子の気持ちを尊重して、何事も考えるようにね」と私の助言を聞いてくれたので、就職がスタートでこれからもつまづかないよう対話していこうと思いました。「味方もいるんだ」と心にとめて欲しいので。
- ・ 勉強になった、わかりやすかった。
- ・ 学校が古い、時代に合っていないと言われて安心できた。感動しました。そして反省もたくさんしました。ひきこもっている人の思いに寄り添い、ライフプランと一緒に考える。たくさん学ぶことができました。
- ・ 一刀両断でスッキリしました。少し早口でついていくのが大変でしたが。
- ・ 自分の知識、認識の無さを痛感しました。福祉専門職として、大切なことを多く学ぶことができました。マイルドなお節介。
- ・ 話の内容がわかりやすかった。
- ・ 先生のお話が聞け、大変感謝しております。対話することで、子どもの尊厳を大切にできる、いろいろなことを学べ良かったです。今一度、自分自身の対応について考え、子どもに接してみようと考えています。(自分のまずさに反省しております。目からウロコです。)

(教育機関)

- ・ すばらしいお話で参考になりました。本も買いました。

(その他、所属未記入)

- ・ とてもすばらしいご講演をいただきました。緩やかなお節介、センス磨きしていきたいと思います。
- ・ 無駄が一言もなく、言葉のストロークに魅了されました。2時間の間に「ひきこもり支援」に関する感覚がすっかりウロコが落ちが感じます。
- ・ 常識をやぶる内容で、改める点があり、とても参考になった。
- ・ わかりやすく、具体的で有用な内容であった。
- ・ わかりやすく共感できるものでした。
- ・ ひきこもりについての認識が変わりました。

8 フォーラム全体の意見・感想

（家族関係）

- ・ スケジュール管理が不十分。
- ・ 大変参考になりました。
- ・ 大変良かったと思います。
- ・ 大変良かった。元気が出た。
- ・ 次回も出席させていただきます。
- ・ やはり、当事者と行政の温度差はかなりあるのを知りました。うつ病とのつきあいは、大変だという事実を知って欲しいです。
- ・ 午前中参加できず、午後のみ参加しました。やはり1日は少し体力的に無理でした。
- ・ 急に考えをまとめられないので…。
- ・ これからもこのようなフォーラムを是非開催して欲しい。
- ・ 定期的な開催を望みます。
- ・ それぞれの立場からの貴重なお話を聞くことができ、勉強になりました。
- ・ とても勉強になりました。
- ・ すごくよかったです。
- ・ 斎藤先生のお話が聞けて良かった。山根先生のお話、いつもながらすばらしく、本当に役立つお話だと思います。
- ・ 嬉しい感動の日でした。斎藤先生のお話は、胸に刻むもので、元気と勇気をいただきました。
- ・ 大変良かった。また次回も参加したい。
- ・ 斎藤先生の話にひきこまれました。ありがとうございます。
- ・ 大変勉強になりました。
- ・ とても参考になり、実践していきたいと思った。
- ・ 会場が暑い。
- ・ とても参考になりました。
- ・ 本当に参加して、今後に活かしたい。
- ・ とても勉強になり、有益でした。
- ・ 様々な視点から講演されて、充実した内容で大変良かったです。ありがとうございました。

（行政）

- ・ 大変参考になった。
- ・ ひきこもり支援をしていく上で、とても参考になった。
- ・ 国、県、自治体それぞれの取組が、現場主義になっていないように思いました。寄り添う姿勢が大切だと思いました。

（医療関係）

- ・ 大変学びと刺激を受けました。ひきこもりについて、我々ができることを少しずつ、こつこつやっていきたいと思います。
- ・ いろいろ参考になりました。私は医療従事者ですが、いつも思うことは、現場で起こっていること、現場でやっている対応がやはり最も効果的で、求められていることだと思っている。行政はやはり遅い！！現場の専門家の意見や現状を把握し、タイムリーな対応が必要だと改めて思った。
- ・ 斎藤先生、山根先生のお話、とてもすばらしかったです。自分の仕事、子どもに対し、役立てたいと考えています。医療を仕事にしているが、ひきこもりに対する対応ができていなかったことをとても反省しています。
- ・ また、研修等あれば、是非参加したいと思いました。
- ・ 大変わかりやすく、勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ 勉強になった。

（福祉関係）

- ・ 深い内容、とても充実しており、満足です。また次回も来たいです。
- ・ とてもわかりやすかったです。
- ・ 山口、宇部市まで思いきって来て良かったです。地元に戻って報告し、共有します。
- ・ 当事者の話が大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・ 勉強になるお話ばかりで、ありがたかったです。
- ・ 自分が思っていたことが、間違っていたのに気づかせてもらいました。ひきこもりが減少していくようになればと思います。
- ・ とても有意義なフォーラムでした。私は再婚で、息子とは血のつながりはありませんが、ひきこもってから、ずっと外部から見てきました。主人が離婚後、息子と向き合うようになり、息子も少しずつ変わってきました。大好きな母親から「あんたが弱いから」と言われたら、どんなにショックだったでしょう。割れてしまった心をつくろうのではなく、0から築きあげることで、息子も道が開けるのではないかと思います。そのためには、正しい支援技術を学ぶことが大事だと感じました。

- ・ 私自身の問題として、自分が傷ついたこと、自分が傷つけたこと、全てを振り返れました。こういう安心できる場を私も作りたいと思いました。必ず過程は修復すると信じて、あきらめないで前を向いて歩きます。
- ・ 家族支援は難しいです。介護、児童虐待など含めて。
- ・ 意義深い。午前中参加できなかったがとても残念です(自分の責任ですが)
- ・ 国、県、市町村団体、その他法人の取組について理解につながった。現在の社会問題としての位置づけだけでなく、自分らの現場でどう支援でき、どうつなげていけるか、ネット枠の構築に役立てたい。ひきこもって人の背景からくるものに視点をおき、否定しない助言、話し方から始めていきたい。

(教育関係)

- ・ 大変な情報量の研修でした。本人の尊厳を守るとは、全ての支援者が支援の根幹として身につけておくべきこと、肝に銘じます。

(その他、所属未記入)

- ・ とてもすばらしいフォーラムでした。内容が濃く、ひきこもりだけでなく、高齢者、認知症支援につながるものを学ばせていただきました。ありがとうございました。
- ・ とても充実した内容で、参加して本当に良かったです。教育関係者の姿が少なかったのが残念でした。
- ・ 斎藤先生の考えを山根先生の考えは、ちょっと違うのかなあとと思いました。

9 ふらっとコミュニティの活動への意見等

(家族)

- ・ とても大切な場所です。これからもどうぞよろしくお願いします。
- ・ 一年近く、家族会に通っていますが、少し自分の子どもには適していないのではないかと思います。始めてました。子どもが居場所として通わないためです。
- ・ よくされている。
- ・ これからも継続して勉強会に参加し、息子と向き合っていきたいと思います。
- ・ 今後のご活躍をお祈りします。
- ・ これからもよろしくお願いします。
- ・ 会員ですが、今後ともよろしくお願いします。
- ・ 山根先生、お元気でこれからも頑張ってください。
- ・ 宇部市以外でも、お願いします。
- ・ 今後とも応援していきたい。
- ・ これからもよろしくお願いします。頑張ってください。とても元気づけられ、頑張りたいです。
- ・ いつもお世話になっています。
- ・ 是非、他県にも活動が広まるようにしてください。
- ・ 先進的な取組で、とても良いと思います。どの市町でも「ふらっと」さんの取組が行われるように、早くして欲しいです。このような会を企画していただき、感謝しています。山根先生、スタッフの方がた、ありがとうございました。
- ・ 定期的に参加します。

(行政)

- ・ 居場所支援で、一日何人くらいの利用があるのか、知りたい。
- ・ このような機会を設けていただき、ありがとうございました。
- ・ 斎藤先生の話聞いて、「ふらっと」さんだけでなく、宇部市に少しずつ広がっていけるよう、頑張りたいと思います。「おまかせ」ではなく、もっと活動がひろがって欲しいと思いました。

(医療関係)

- ・ すばらしい活動だと尊敬します。
- ・ 人材育成ができることを願っています。
- ・ 頑張ってください。
- ・ 継続して活躍してください。

(福祉関係)

- ・ 積極的な活動をされているのが、とてもすごい。皆さん体をこわさないよう、活動を続けられてください。
- ・ y a bさんのニュースをみて伺いました。yabさんがずっと継続して取材されていて、他のニュース番組とは違うかな、と信頼しています。
- ・ 山根モデル、応援します。最後に言われた斎藤先生の思い、山根モデルにつなげて広がるといいです。
- ・ 山根モデル、家族心理教室のDVDの販売をいつかしていただきたいです。一日たくさんのかを学べました。じっくりと学び直し、今日の視点を自分の活動に活かしたいです。

- ・ ひきこもりの人の居場所があるのは、とても大切だと思います。今後も多くの人が利用できたらと思います。
- ・ 行政も考え方を变えて欲しい。ちゃんとした支援者を育成してほしい。つくづくそう思いました。国も県も構想だけで中がスカスカ。もっと活動を広めて頑張ってもらいたいと思いました。
- ・ 初めて参加させてもらいました。山根先生の熱意を受け、もっと勉強しなければと思っています。
- ・ ノウハウを学びに行きたいと思っています。
- ・ 市、県レベルから、全国レベルへの発信をしようと活動されようとしています。支援しているからこそ、現状から見えてくること、これからについても考えている。支援とは話を聞くだけではなく、どう課題に向き合い、対応方法について学び、前に進めるようサポートしていくのか等気づきの場となりました。

(その他・所属先未記入)

- ・ 発達障害の我が子への対応がわからず、不適切な対応をしながら、子育てをしている親がたくさんいらっしゃると思います。二次障害による将来のひきこもりを作らないための水際での取組があればいいな、と思います。斎藤先生から引きこもる権利のお話を伺いました。
- ・ できるかぎり、併走させていただきたいと思います。ありがとうございました。